

災害後の復興について 全員で話し合いました

全4回
終了

多くの皆様にご参加をいただきました。
ありがとうございました！

最終回

第3回でいただいたご意見を踏まえ、「復興目標・方針の修正案」を提示し、改めて被災後の復興について検討しました。

第4回の詳細は裏面へ

〈対象地区〉



【出典：国土地理院ウェブサイト】

都市復興シミュレーション全4回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。

第1回

6月29日(土)

都市復興シミュレーション実施の意義と生活再建について学ぶ



第2回

11月23日(土)

“仮想まちあるき”を通じた地域の再確認(課題・資源の整理)を行う



第3回

1月19日(日)

復興目標・復興方針・復興計画(案)について考える



第4回

2月15日(土)

復興目標・方針(案)をまとめる



復興目標・復興方針の作成

「復興目標、復興方針（案）」を検討しました

通常の堤防のまま復興する案（案1）と高規格堤防を整備して復興する案（案2）という前提のもと、2グループに分かれて意見交換を行いました（この2つの案はNEWSVol3でお示した内容です）。

案1は水害に対する安全性はこれまでと同様なのに対し、案2は高規格堤防を整備するため、水害に対する安全性が向上しますが、復興までの時間は案1よりも多くかかります。

実際に災害が発生した際には、被害の規模や住民の皆様の意向等に応じて、これら2案を検討することになります。

案1：通常堤防案

目標 全ての人に優しく住みよいまち 本木・関原

コンセプト	主な内容
地震や水害に強いまち	① 建物を耐震化、不燃化することで地震に強いまちにしていきます。 ② 幹線道路沿道では建物を中高層化し、水害時に垂直避難が可能なまちとしていきます。
ゆとりのあるまち	① 地区内に公園をバランスよく配置し、誰でも利用しやすい環境にしていきます。
住民が交流しやすいまち	① 学生寮やアパートを整備することで、若い人が住みやすい環境にしていきます。
便利で快適なまち	① 幹線道路沿道の建物では、低層を店舗、高層を住宅等での利用を検討し、地区内に多くの店舗がある環境を形成していきます。
本木・関原らしさを残したまち	① 被害が甚大なエリアでは、土地区画整理事業を積極的に活用しますが、現存のまちなみ（少し曲がっている道路、高すぎない建物）を最大限活用します。

案2：高規格堤防案

目標 人々がつながる強くて優しいまち 一本木・関原

コンセプト	主な内容
安全・安心のまち	① 補助136号線から荒川堤防までに高規格堤防を整備し水害に強いまちにしていきます。
誰にでも優しいまち	① 高規格堤防上に大規模公園を整備し、人々が集う場所としていきます。
豊かなコミュニティがあるまち	① 空き店舗の活用や幹線道路沿道の建物へ店舗や工房等を誘致することで、若者が活躍できる場所を創出していきます。
本木・関原らしさを感じられるまち	① 高規格堤防の整備範囲では新しい市街地を、その後背地では現在のまちなみ（綺麗な区画にしすぎない、高層にしすぎない等）を最大限活かしたまちづくりを進めます。

参加者のご意見

- 高齢者が多い地域だが、若者の意見取り入れにも力を入れて欲しい。
- 高規格堤防はより安全になるため、将来を考えると良い案だと思う。
- 通常堤防案の方が期間、費用共に現実的だと思う。



▲ 意見交換中の様子



▲ 発表の様子

今回検討した内容は、後日配布する「復興手順書」で皆様に報告します

【お問い合わせ】

足立区都市建設部都市建設課 國井・佐伯
TEL：03-3880-5280
メール：tosikeikaku@city.adachi.tokyo.jp

